

令和6年度 福井県立羽水高等学校スクールプラン

福井県教育委員会

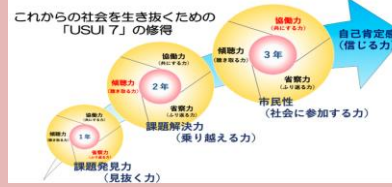
「一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり」

(福井県教育振興基本計画の基本理念)

『博學之、審問之、慎思之、明辯之、篤行之。(—中庸—)』
真理を探究し、未来を切り開く行動力にあふれた生徒を育成する。

これからの社会を生き抜くためのUSUI 7の修得

- 1 自己肯定感(信じる力)
- 2 傾聴力(聴き取る力)
- 3 省察力(ふり返る力)
- 4 協働力(共にする力)
- 5 課題発見力(見抜く力)
- 6 課題解決力(乗り越える力)
- 7 市民性(社会に参加する力)



業務改善のための取組

校内ネットワークシステムを積極的に活用し、会議の精選と情報の共有化に努めるとともにタイムカードの活用等による勤務時間管理を推進する。

人権教育の推進

研修会、学校行事、ロングホーム等で体罰やいじめ等を含んだ人権問題を扱い、教職員や生徒の人権尊重の意識を高める。

重点目標

1 教育課程・学習支援

「知識及び技能」・「思考力・判断力・表現力」・「学びに向かう力、人間性」の育成に努める。

2 生徒支援

基本的な生活習慣を確立し、自律的に行動し、自発的に物事に取り組む姿勢を養う。

3 進路支援

進路意識の高揚にタブレット等を有効活用し、生徒の志望する進路実現を果たせる能力を育む。

4 保健衛生

心身の健康に対する意識を向上させ、感染症対策や環境美化に取り組む姿勢を養う。

5 図書・広報活動

読書を通して、豊かな知識と情操を育む。また、中学校の生徒・教職員に本校の特色を伝える。

6 外部との連携

地域に開かれた学校として、学校外部との連携を深め、地域の活性化にも貢献する。

7 探究学習の推進

プロジェクト学習の深化を図る。

具体的取組

a ICT機器を活用し、生徒が主体的に学ぶ授業に向けて授業改善に取り組む。

目標：積極的に授業改善に取り組む教員の割合95%以上

b 生徒の学習意欲が向上し、家庭学習に積極的に取り組むように、各々の課題を発見し解決しようとする態度を育成する。

目標：平日に毎日家庭学習に取り組む生徒の割合80%以上

具体的取組

a 登校や風紀のチェックを生徒自らが取り組む体制を作る。ICT機器の利用に際しSNSやネット利用におけるルールを守ることや、薬物使用の違法性と危険性について周知啓発する。

目標：SNSやネットを適切に利用することができた生徒の割合80%以上

b 学校行事や部活動などに積極的に参加することによって自主自律の精神や自己肯定感を養う。

目標：学校での諸活動に積極的に取り組んだ生徒の割合90%以上

具体的取組

a 進路講演会、オリエンテーション、面接指導等を通して進路意識の向上を図る。

目標：生徒理解が十分になされ、一人ひとりに光をあてた適切な進路支援ができたと感じる教員の割合90%以上

b 生徒の実態に即した進路情報、資料の提供を行い、その活用を促進する。

目標：タブレット等を使って、生徒自身が進路情報を入手して、それらを有効に活用したと感じる生徒の割合90%以上

具体的取組

a 担任・部活動顧問・保護者と情報の共有をし、必要に応じて外部機関と連携を図り、生徒が抱える問題への早めの気づきと適切な対応を行う。

目標：心身に問題を抱え配慮を要する生徒に対して十分に対応した教員の割合95%以上

b 感染症に対応した保健指導や清掃活動を通して、感染予防、環境美化、公衆衛生の意識を高め自主的に取り組む。

目標：基本的感染症対策や清掃に自主的に取り組んだと感じる生徒の割合95%以上

具体的取組

a 図書の充実に努め、朝読書週間の企画、図書委員会による啓発活動などを通して、生徒の図書館利用を促す。

目標：朝読書を通して読書に親しめたと感じる生徒の割合90%以上

b 中学校訪問や羽水journalの作成配付、ホームページ、ブログ、学校説明会等を通して本校の特色のアピールに努める。

目標：中学校への広報活動が十分だったと感じる教員の割合90%以上

具体的取組

a 育成会や同窓会活動の活性化を図るとともに、本校の教育活動について家庭・地域への周知に努める。

目標：教育活動についての情報提供等に満足だと感じる保護者の割合90%以上

b 保護者や地域に対して広報誌(育成会だより羽水)やホームページへの記載を通じて、教育活動に関する情報を積極的に発信する。

目標：情報発信ができたと感じる教員の割合100%

具体的取組

a 海外の姉妹校との国際協働学習を進めるなどして、充実したプロジェクト学習を行う。

目標：総合的な探究の時間の活動に満足だと感じる生徒の割合70%以上

b 効果的な研修の機会を提供し、教員が授業力や生徒指導力の向上に努める。

目標：効果的な研修を行ったと感じる教員の割合90%以上